

平成30年度 中間 学校評価(教師用)

(「学校課題に関連した取組」についての教職員用アンケート)

4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない

1 「金沢型学校教育モデル」関連

	肯定的 意見(4,3) の割合
◆金沢ベーシックカリキュラムを基準とした、知・徳・体の調和のとれた教育課程の編成・実施	
* 各教科の教育課程の実施状況を教科部会等で確認し、課題を協議しながら計画に基づいて実施している。(A:1か月に2回以上 B:1か月に1回以上)	95.2 %
* 道徳教育、人権教育、健康教育について、年間指導計画に基づいて実施している。	95.2 %
◆「金沢子どもかがやき宣言」に基づき、人と人との絆を大切にし、生徒の心と力を磨く生徒会活動の実践	
* 生徒が金沢「絆」プロジェクトを通して、人と人との絆の大切さを感じている。	76.2 %
* 金沢「絆」プロジェクトにおいて、生徒の主体的な取組となるように指導している。	90.5 %
◆金沢型学習スタイル	
* 話し合う活動を通じて、生徒が考えを深めたり、広げたりすることができるよう工夫している。	100.0 %
* 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりすることができていると思う。	90.9 %
・ 導入段階で、学習のめあてがつかめるよう指導している。(問題意識・学習の見通し)	95.5 %
・ 展開段階で、自分で考えるよう指導している。 (書く時間と場、具体的な活動、書く内容や書き方)	95.5 %
・ 展開段階で、自分の考えを伝え合うよう指導している。 (分かりやすい説明、確実な理解、整理して聞く)	86.4 %
・ 展開段階で、みんなで考えを深めるよう指導している。 (共通点や相違点、分類、特徴、関連付け 等)	86.4 %
・ 終末段階で、「わかった」「できた」をまとめるよう指導している。 (自分の言葉、振り返る活動 等)	90.9 %
・ すべての場面で、言語活動を大切にして指導している。	95.5 %
・ ノート指導を行い、適切に評価している。	72.7 %
・ 授業開始時に、必要なものが机の上に準備されているか確認している。	95.5 %
・ 教師自ら時間を守り、チャイムと同時に授業を始めている。	95.5 %
・ 挨拶で気持ちを切り替えるよう指導している。	100.0 %
・ 家庭学習の方法と内容を具体的に示し、学習内容に対して点検・評価を行っている。	90.9 %
◆学習の基盤	
・ 丁寧に書き、適切な言葉で話すよう指導し、教師も実践している。	95.5 %
・ 配慮を要する児童生徒への支援を意識した授業を構成している。	86.4 %
・ 学習に適した教室環境が整備されている。	95.5 %
・ 適切な方法を選択し、根拠を明確にして表現するよう指導している	100.0 %
◆金沢ふるさと学習における、金沢の資料の活用、金沢について学び、考え、かかわり、広める学習の実践	
* 生徒に金沢のまちに愛着と誇りを持ち、まちづくりの担い手としての意識が育っている。	81.0 %
◆小中一貫;指導方法の工夫・改善について、小中学校間で研究を推進	
* 金石中学校校区における学力の課題解決に向けた共通実践を意識した授業づくりに努めている。	95.2 %

2 「生徒指導」の視点

- ◆ ルールの正しいとらえ方の指導に、考えさせる場、内面化を図る指導の実践
 - * 授業や、生徒の活動の中に、ルール・マナーを考える場をつくり、内面化するための指導を実践した。 95.7 %
 - * ルール、マナーを意識する生徒が増えてきていると生徒が感じている。 95.5 %
- ◆ 生徒が持つ背景や内面に配慮した生徒理解、『主体性、コミュニケーション力』の育成、いじめ防止の指導の実践
 - * 声かけ、スクールライフでの交流などを大切にし、生徒理解と把握とともに、主体的な集団作りを目指した指導を実践した。 95.5 %
 - * 互いに認め合い、共感的人間関係を持つ生徒集団を育成することができた。 100.0 %
 - * 生徒会、委員会、リーダー会等において、生徒が主体的に活動できている。 81.8 %
 - * アンケート調査及び定期的な教育相談を実施し、いじめの実態把握・早期発見に努めている。 95.5 %
 - ・ 不登校生徒への積極的な関わりを持ち、教師間の情報交換を密にして対応した。 95.5 %

3 「学習指導」の視点

- ◆ 学力の2極化への対応、生徒の現状、個に応じた学習指導の取り組み
 - * 授業形態を工夫し、授業への参加率を高めることができた。 95.5 %
 - * 個に応じた指導を心がけ、それぞれの生徒の学力向上を目指して取り組んだ。 95.5 %
- ◆ 授業における生徒の『主体性、コミュニケーション力』の育成、授業力の向上への取り組み
 - * 授業における生徒の『主体性、コミュニケーション力』の育成を目指した場の設定に努めた。 90.9 %
 - * 授業形態を工夫し、生徒の意欲・主体性を引き出すよう、授業の質の向上に向けた教科研究に取り組んでいる。 90.9 %
 - ・ SUノートや家庭学習強化週間の設定で、家庭学習の習慣化を図り、成果を上げている。 95.2 %

4 教員の業務適正化

- ◆ 時間外勤務時間の縮減に向けて、具体的な取組の推進
 - * 業務適正化に向けた市の基本方針や学校の具体的な取組を理解し、教職員自ら業務の自己管理ができている。 87.0 %
 - * 定時退校日には、定時に退校できるよう業務改善に努めている。 86.4 %
 - * 最終退校時刻の目標を設定し、時間外勤務の1か月あたりの平均が前年度より減少している。 50.0 %
 - * 夏季休業など長期休業中(閉庁日を除く)に、まとまった部活動休養期間(連続3日以上)を設けている。 95.2 %
- ◆ 教職員の勤務時間の現状や多忙化改善に向けた取組について、保護者や地域の方々の理解と協力
 - * 学校だよりやスクールフォーラムなどを活用して教職員の時間外勤務の現状や多忙化改善に向けた取組を周知している。 81.0 %
 - * 業務適正化に向けた学校の方針や具体的な取組に対して保護者の理解を得ている。 81.0 %

5 その他

- ・ 「学校だより」「学年だより」等を活用し、学校の様子を家庭や地域に発信している。 95.5 %
- ・ 地域の伝統行事や清掃活動に参加したり、様々な交流体験をしたりしている。 81.8 %
- ・ 主任との連携と相談を密にし、仕事の効率化や焦点化を図っている。 90.9 %
- ・ 校外での研修を共有し、資質向上を図っている。 95.5 %
- ・ 危険箇所を点検し、安全な生活環境づくりをしている。 95.5 %
- ・ 職員のライフワークバランスを構築するため、学校運営での文書量等を精選している。 72.7 %